

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルーム ピースプラント阿倍野				公表日	2026年 3月 1日		
					利用児童数	40人	回収数	38人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	1			柱が気になる。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	38				足りていると感じる。	現在の職員数は維持していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38				ホワイトボードに活動の見通しがあるのでわかりやすい。	必要に応じて、道具の配置を変え、視覚情報を調整する事で、対応させていただきまます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	2			療育室は広く、活動が実施しやすい環境になっている。	今後も療育室内を清潔で、安心・安全に療育ができるようにしていきたい。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38				辛い時や上手くいかない時でも、安心感を持って、楽しく感じていると思います。	今後も、保護者の方や子どもの情報交換を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38				合っていると感じる。	方向性がずれないように、定期的に客観的な視点で評価する。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38				支援計画、モニタリングを6か月に1度、説明を受けている。	子どもの成長に合わせて、保護者の方と話をしていきたい。支援計画、モニタリングを作成する。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38				保護者の希望を取り入れながら、子どもに合った計画を作成、設定をして頂いている。	今後も、子どもや家族に支援できるようにしていきたい。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38				子どもに合った支援が行われており、とても成長を感じる。	今後も子どもの成長に合わせて支援をしていきたい。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38				活動内容が子どもの課題に沿った内容になっている。	子どもに合わせた活動を考察し、マンネリ化しないようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	38				サービスなし。	子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていくようにしていきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38				契約時に説明があった。	保護者の方に必要な情報をわかりやすく、説明をする。保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38				6か月に1度、支援計画やモニタリングなど、直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換を行い、子どもの成長を促していきたい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	38				サービスなし。	療育後など保護者に情報共有を行い、親族の方に支援できるようにしていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	38				療育の時間で話が出てくる。	職員間での情報共有も徹底していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38				サービスなし。	療育だけでなく、保護者の方と情報交換し、少しでも成長につながるようにしていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38				親身になって話を聞いてくれる。	今後も保護者の方との関係性を築いていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38				勉強会や座談会などがあった。	保護者同士でコミュニケーションが取れる機会を作っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38				児童発達支援管理責任者やリーダーが主に対応されている。	どの職員でも相談し解決できるようにしていきたい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	1			具体的に、何を目的としているのか、教えて頂いているので、分かりやすい。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38				SNSでイベントの様子を見る事がある。	保護者の方に分かりやすいようにしていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38				ご意見なし。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38				6か月に1度避難訓練を実施している。	定期的に実施する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38				避難くれんに参加したことがあります。が、迅速な対応でした。	今後も職員も意識できるようにしていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38				安全に配慮してくれている。	今後も継続する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38				少しぶついただけだが、当日に電話があった。	今後も迅速な対応を行う。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38				どの先生も好きで楽しめている。	今後も安心して通えるように関係性を作っていきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	3			毎回、通うことを楽しみにしています。	今後も子ども達が楽しめるような課題に取り組んでいきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38				子どもが楽しく通えている。挑戦できることが増えているように感じます。	子ども達が達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。